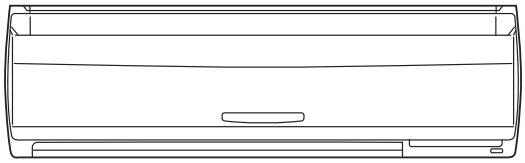
MITSUBISHI ELECTRIC

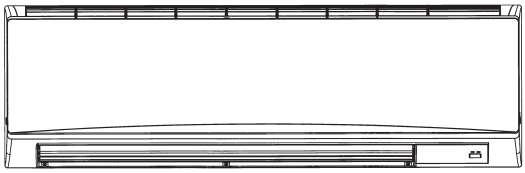
三菱電機パッケージエアコン
室内ユニット 冷媒R32/R410A対応
形名
PK-RP・KA15

取扱説明書

Mr.SLIM



PK-RP56KA15
PK-RP63KA15
PK-RP71KA15



PK-RP80KA15
PK-RP112KA15

●お使いになる前に

安全のために必ずお守りください …… 2
各部のなまえ …… 4

●運転のしかた

運転モードの切換、室温・風速・風向調節のしかた …… 8
応急運転のしかた …… 11
自動運転、換気運転のしかた …… 12
タイマー、スケジュール運転のしかた …… 13
ワイヤレスリモコンをご使用になる場合 …… 14
もっと知りたいとき …… 14
上手な使い方 …… 16

●お手入れのしかた・困ったときに

「故障かな？」と思ったら …… 17
お手入れのしかた …… 19
長期間ご使用にならないとき …… 21
移設・工事について …… 22
保証とアフターサービス …… 23
ご相談窓口 …… 25
仕様 …… 27

このたびは三菱電機パッケージエアコンをお買いもとめいただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
●「取扱説明書」と「保証書」は「据付工事説明書」とともに大切に保管してください。
●保証書は「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
●お使いになる方が代わる場合には必ず本書と据付工事説明書および保証書をお渡しください。
●お客さまご自身では据付・移設をしないでください（安全や機能の確保ができません）。
●この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

お使いになる前に 安全のために必ずお守りください

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

■"図記号"の意味は次のとおりです。

禁　止	アース線接続
指示を守る	水濡れ禁止
濡れ手禁止	

⚠警告

長時間直接お肌に風をあてない

健康を損なう原因になります。

禁　止

濡れた手で電源スイッチを操作しない

感電の原因になります。

濡れ手禁止

お客さま自身で分解・改造・据付け・修理・移設・廃棄はしない

不備があると、火災・感電・ユニットの落下によるケガ・水漏れの原因になります。また、冷媒を大気に放出すると地球を汚染することになります。お買上げの販売店にご相談ください。

分解・据付け・修理・移設・廃棄禁止

吸込口・吹出口に指や棒などを入れない

特にお子さまにご注意を！内部でファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。

禁　止

エアコンおよびリモコンを水洗いしない

ユニットおよびリモコン内部に水が浸入して絶縁不良になり、感電・発火の原因になります。

水漏れ禁止

異常時（異臭・異音・振動大など）は運転を停止して、電源スイッチを切る

異常のまま運転を続けると感電・火災や故障の原因になります。また、リモコンにエラーコードが出たり、漏電遮断器がたびたび作動する場合もお買上げの販売店にご連絡ください。

電源を切る

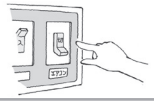
万一冷媒が漏れても限界濃度を超えないよう換気対策を行う

冷媒が漏れると、酸欠事故の原因になります。
お買上げの販売店にご相談ください。

換　気

清掃およびメンテナンス作業時には運転を止め、電源スイッチを切る

ファンおよびファンモーターへの接触によるケガや感電の原因になります。



電源を切る

⚠注意

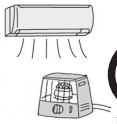
粉が浮遊する作業場などでは使用しない

粉じんなどにより機器の故障や発煙に至ることがあります。または健康を損なう原因にもなります。

禁　止

直接風のあたる所に燃焼器具を置かない

不完全燃焼や熱によるエアコン変形の原因になります。



設置禁止

室内ユニットの金属部にさわらない

フィルターを外したときにケガの原因になります。

禁　止

室内・室外ユニットの下に濡れて困るものを置かない

冷房時、多湿（湿度78%以上）時の長時間運転およびホコリなどによるドレン詰まりにより水が滴下し、家財などを濡らし汚損の原因になります。

設置禁止

特殊用途に使用しない

精密機器・食品・動植物・美術品の保存などに使用しない。
品質低下の原因になります。

使用禁止

直接風があたる所に動植物を置かない

動植物に悪影響を及ぼす原因になります。

設置禁止

殺虫剤・可燃性スプレーなどを吹付けない

火災・変形の原因になります。

使用禁止

エアコンの近くで火気（調理器具など）を使用しない

熱により、エアコンが変形したり、発火する原因になります。

使用禁止

フィルターなどの着脱・手動での風向調節のときは不安定な台に乗らない

落下・転倒によるケガの原因になります。

禁　止

燃焼器具と一緒に使うときは、こまめに換気する

酸素不足の原因になります。

換　気

フィルターなどの着脱には、保護具（メガネなど）を着用する

目にゴミ・ホコリが入ることがあります。
フィルター清掃は専門の業者に依頼してください。

保護具着用

⚠注意

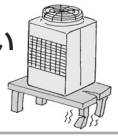
室外ユニットの上に乗ったり、物を載せたりしない

落下･転倒によるケガの原因になります。

禁　止

据付台などがいたんだ状態で放置しない

ユニットが落下･転倒し、ケガなどの原因になります。



放置禁止

運転中に冷媒配管に触れない

素手で触れると凍傷や、やけどになるおそれがあります。

禁　止

エアコンの下方に食品や食器を置かない

ホコリ･錆などが食品に落ちますと病気などの原因になります。食品加工場など食品を扱う場所での天井設置時は十分ご注意ください。

禁　止

清掃のときは運転を止め、電源スイッチを切る

運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。

電源を切る

室内を薬品消毒するときにはエアコンに薬品が付着しないよう、シートなどで覆い、エアコンを停止する

薬品や薬品から発生するガスが付着すると腐食、変形の原因になります。また、薬品が飛散し危険です。

エアコン停止

室内を薬品消毒したあとには必ず換気をし、薬品および薬品から発生したガスを十分に排気してから、エアコンを運転する

薬品や薬品から発生するガスが付着したり、吸い込んだりするとエアコンの腐食、変形の原因になります。

換気･送風運転

据付時　次の項目をご確認ください。

⚠警告

据付や移設などの場合は冷媒サイクル内に指定冷媒以外のものを混入させない

- 空気などが混入すると、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂などの原因になります。
- 指定冷媒以外を封入すると、機械的不具合･誤作動･故障の原因となり、場合によっては安全性確保に重大な障害をもたらすおそれがあります。

禁　止

当社指定の冷媒以外は絶対に封入しない。

- 法令違反の可能性や、使用時･修理時･廃棄時などに、破裂･爆発･火災などの発生のおそれがあります。
- 封入冷媒の種類は、室外ユニットの据付工事説明書あるいは銘板に記載されています。
- それ以外の冷媒を封入した場合の故障･誤動作などの不具合や事故などについては、当社は一切責任を負いません。

禁　止

可燃性ガスの発生･流入･滞留･漏れのおそれのある場所へは据付けない

万一ガスがユニットの周囲にたまると、発火･爆発の原因になります。

設置禁止

電源は専用回路とし、かつ定格の電圧、遮断器を使用する

異電圧や容量の大きい遮断器を使用したり、正しい容量のヒューズの代わりに針金や銅線を使用すると、火災･故障の原因になります。

専用回路

据付けは、お買上げの販売店または専門業者にご依頼ください

据付け

使用される別売部品やフィルターは当社指定品であること

別売部品は、必ず当社指定のものであること。お客さまご自身で取付け不備があると、感電･火災･故障･水漏れなどの原因になります。お買上げの販売店にご依頼ください。

別売部品

漏電遮断器を取付ける

取付けていないと、感電の原因になります。

漏電遮断器

室内･室外ユニットは、堅固な場所に水平に、かつしっかりと固定されていること

ユニットの落下･転倒などによりケガの原因になります。

設置場所

元電源の取付位置を確認する

元電源

⚠注意

ドレン配管は確実に行う

配管工事に不備があると水漏れし、家財などを濡らす原因になります。

排　水

アース工事を行う

アース線は、ガス管･水道管･避雷針･電話のアース線に接続されていないこと。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

アース線を必ず接続せよ

●冷媒（フロンガス）についてのご注意

このエアコンに使用されている冷媒は、通常漏れることはありませんが、万一冷媒が漏れて火気に触れると有毒ガスが発生することがあります。また、空気より比重が重いため、部屋の中では床面に溜まりやすく酸欠事故の原因になります。

（冷媒が漏れたときの処置）

万一冷媒が漏れたときには、ストーブなどの火を消し、戸を開けるなどして十分に換気を行ってください。

その後、お買上げの販売店にご連絡ください。

●次の場所への据付けは避けてください

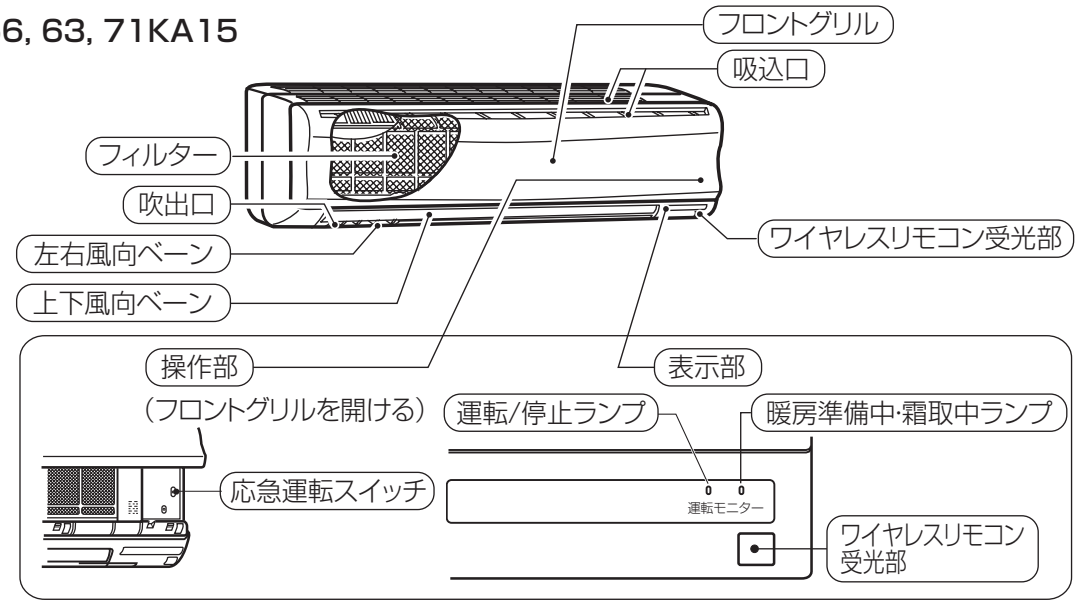
- 可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ
- 硫黄系ガス･塩素系ガス･酸･アルカリなど、機器に影響する物質の発生するところ
- 機械油を使用するところ
- 車輌･船舶など移動するものへの設置
- 高周波を発生する機械を使用するところ
- 化粧品･特殊なスプレーを頻繁に使用するところ
- 海浜地区など塩分の多いところ
- 積雪の多いところ

（このページの詳しい説明は、室内ユニットの据付工事説明書をご覧ください。）

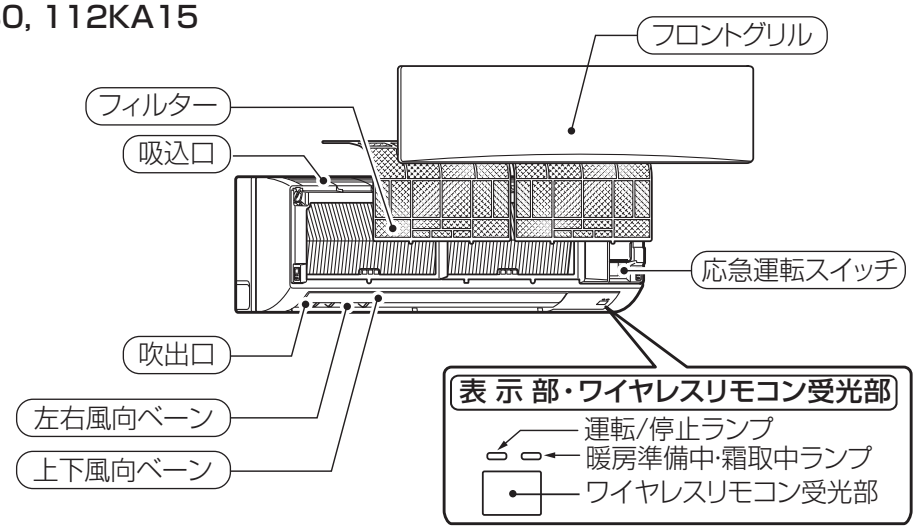
各部のなまえ

室内ユニット

● PK-RP56, 63, 71KA15



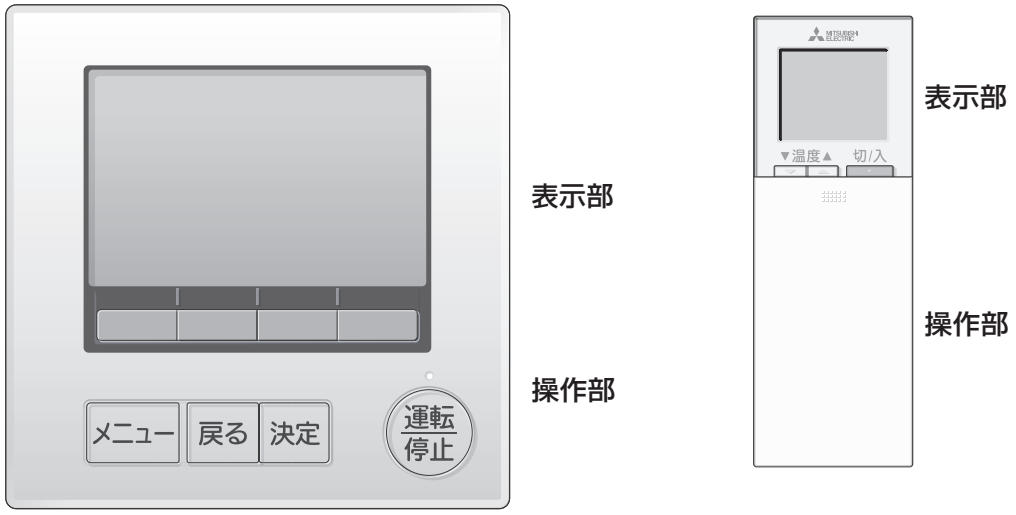
● PK-RP80, 112KA15



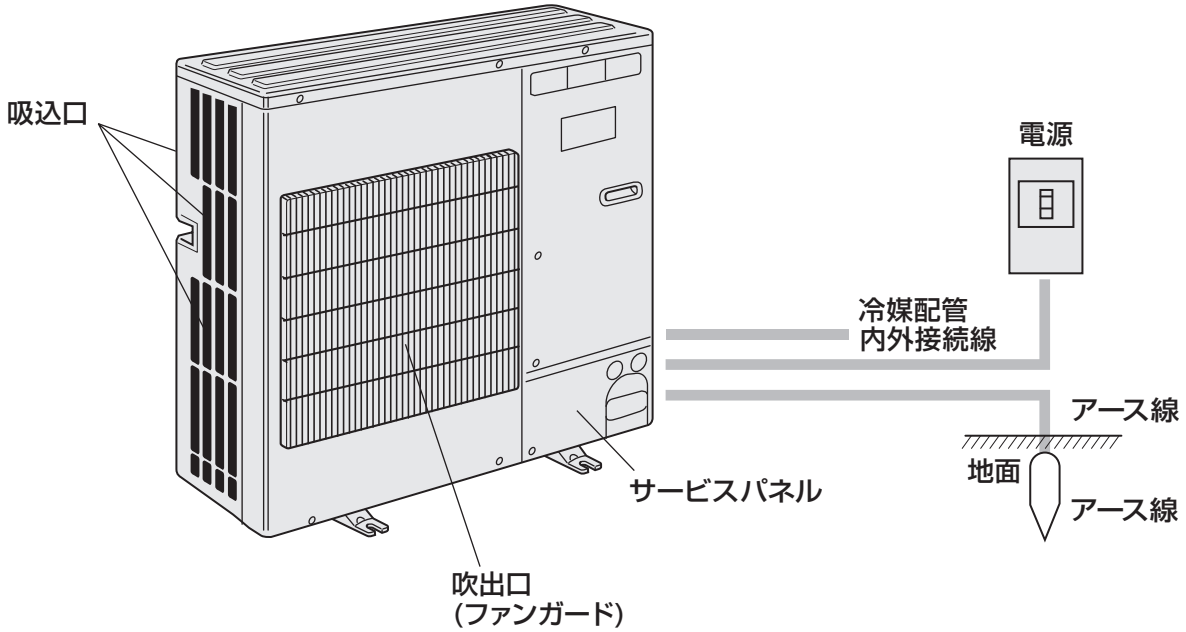
		PK-RP56,63,71KA15	PK-RP80,112KA15
風速		3 速（自動可）	3 速（自動可）
上下風向調節		自動（スイング可）	自動（スイング可）
左右風向調節		手動	手動
ロングライフフィルター		–	–
フィルタークリーニングサイン積算時間		100 時間	100 時間
ワイヤレスリモコン機種設定機種 No. ※1	冷暖切換タイプ	002	002
	冷房専用タイプ	162	162

※1 ワイヤレスリモコンをご使用する場合には、ワイヤレスリモコン側へ上表「機種No.」設定を行ってください。
・室外ユニットタイプ（冷暖切換タイプ/冷房援用タイプ）により設定する「機種No.」が異なります。
・ワイヤレスリモコンの機種設定方法は、ワイヤレスリモコンの据付工事説明書をご確認ください。

リモコン


MAスマートリモコン
(別売部品)
ワイヤレスリモコン
(別売部品)
表示部
操作部
メニュー
戻る
決定
運転
停止
表示部
操作部
▼温度▲
切/入

室外ユニット

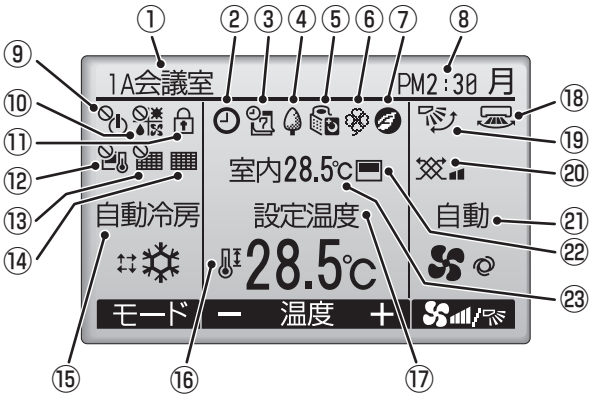

吸込口
電源
冷媒配管
内外接続線
アース線
地面
アース線
サービスパネル
吹出口
(ファンガード)

MAスマートリモコン（別売部品）

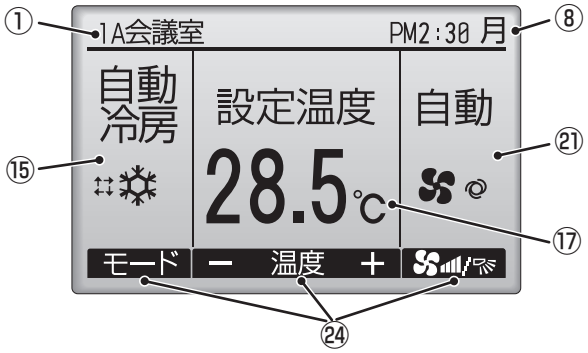
表示部

■操作部、表示部はMAスマートリモコンを記載しています。（説明のため全ての表示内容を示しています。）
■表示部は「詳細」と「簡易」の2種類があります。初期設定は詳細画面表示となっています。

詳細画面（メイン画面）

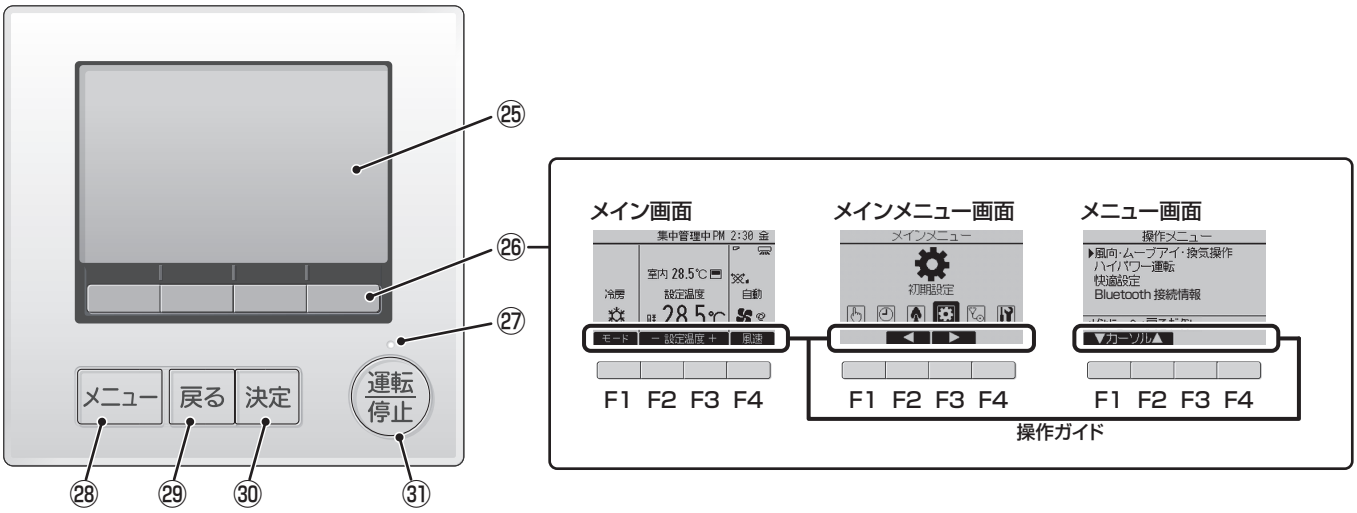


簡易画面（メイン画面）



番号	表示/名称	説明
①	リモコン名	リモコンの名前を表示します。
②		オン／オフタイマーならびに消し忘れ防止タイマー設定が有効の時に表示します。
③		週間スケジュールタイマー設定が有効の時に表示します。
④		省エネ制御中に表示します。
⑤		室外サイレントモード制御中に表示します。
⑥		パワーシェア運転有効中に表示します。
⑦		ムーブアイ省エネ運転中に表示します。
⑧	時刻	現在の時刻を表示します。
⑨		発停操作が集中管理中の時に表示します。
⑩		運転モード操作が集中管理中のときに表示します。
⑪		操作ロック設定が有効の時に表示します。
⑫		設定温度操作が集中管理中の時に表示します。
⑬		フィルターサインのリセット操作が集中管理中の時に表示します。
⑭		フィルターのお手入れ時期になると表示します。
⑮	運転モード	運転中の状態を表示します。
⑯		設定温度範囲制限設定が有効の時に表示します。
⑰	設定温度	設定温度を表示します。
⑱		設定したルーバーの状態を表示します。
⑲		設定した風向の状態を表示します。
⑳		設定した換気の状態を表示します。
㉑	風速	設定した風速の状態を表示します。
㉒		室内温度を検知するセンサー位置がリモコンの時に表示します。 室内ユニットのときは を表示します。
㉓	室内温度	現在の室内温度を設定します。
㉔	ファンクションボタン操作ガイド	ファンクションボタンの機能名を表示します。

操作部



番号	表示/名称		説明
㉕	液晶表示部 （バックライト付）		運転内容を表示します。 バックライト消灯中にボタン操作すると、バックライトが点灯します。 一定時間ボタン操作が行われないと自動的に消灯します。 バックライトの点灯時間は画面により異なります。
㉖	ファンクションボタン		ファンクションボタンは操作する画面によって動作が変わります。 液晶表示下部の操作ガイドにしたがって操作してください。
		F1ボタン	メイン画面：運転モードを切換えます。 メニュー画面：操作する画面によって動作が変わります。
		F2ボタン	メイン画面：設定温度を下げます。 メインメニュー画面：カーソルが左に移動します。 メニュー画面：操作する画面によって動作が変わります。
		F3ボタン	メイン画面：設定温度を上げます。 メインメニュー画面：カーソルが右に移動します。 メニュー画面：操作する画面によって動作が変わります。
		F4ボタン	メイン画面：風速を切換えます。 メニュー画面：操作する画面によって動作が変わります。
㉗	運転ランプ		運転中、緑色に点灯します。立上げ時、異常時は点滅します。
㉘	メニューボタン		メインメニューを表示します。
㉙	戻るボタン		前の画面に戻ります。
㉚	決定ボタン		設定の決定をします。
㉛	運転/停止ボタン		1度押すと運転し、もう一度押すと停止します。

■バックライトが消えている状態での最初のボタン操作は効きません。バックライトのみ点灯します。
（運転／停止ボタンは除く）

■基本運転（運転／停止、運転モード切換、風速調節、温度調節）以外はメニュー画面からの設定となります。

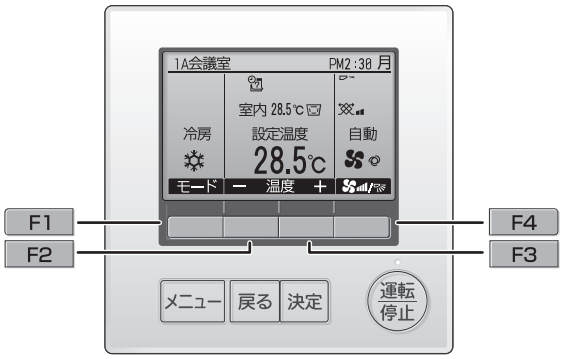
お　願　い

■付近の温度が40℃以上、0℃以下になる場所、または直射日光があたる場所、湯・油・蒸気が飛散する場所にはリモコンを取付けないでください。

運転のしかた 運転モードの切換、室温・風速・風向調節のしかた

運転開始の前に… 電源が入っているか確認してください。停電や電気工事、また、外気温度が10℃以下で1日以上電源を切って放置した場合は、電源を入れてから12時間以上運転をお待ちください。エアコンを使用期間中は電源を切らないでください。

MAスマートリモコン



運転モード表示

冷房　ドライ　送風
暖房　自動
自動冷房　自動暖房

運転の開始、運転モードを選ぶとき

運転開始したいとき

運転ボタンを押す。運転ランプと表示が点灯します。

運転モードを変えたいとき

F1 ボタンを押す。●1回押すごとに設定が切換わります。

冷房 → ドライ※2 → 送風 → 自動※1 → 暖房※1

※1 冷房専用機種の場合は、自動と暖房の表示はされません。設定もできません。
※2 室温18℃以下では、ドライ運転はできません。

お願い

■リモコンを先のとがった物で押さないでください。
故障の原因になります。

設定温度を変えたいとき

室温を下げたいときは F2 ボタンを押す。

室温を上げたいときは F3 ボタンを押す。

● 1回押すごとに設定温度を0.5℃変えられます。
● 温度設定範囲は次の通りです。※1

冷房·ドライ運転	暖房運転	自動運転	送風·換気
19～30℃	17～28℃※2	19～28℃	設定できません

※1 設定温度範囲制限が設定されている場合、可変できる温度範囲が狭くなります。(設定温度範囲制限中は が表示されます。)
範囲を超えて設定しようとした場合、"設定温度制限中"が表示され、制限中であることが表示されます。
詳細はリモコンの取扱説明書をご覧ください。

※2 ズバ暖スリム室外機組合せ時は、10℃の設定ができます。組合せ機器に制約がありますので、詳細についてはカタログなどをご確認ください。

風速を変えたいとき

F4 ボタンを押す。

● 1回押すごとに設定が切換わります。

	風　速	設定の切換わり
PK-RP·KA15	3段階 ＋ 自 動	(弱) → (中) → (強) → (自動)

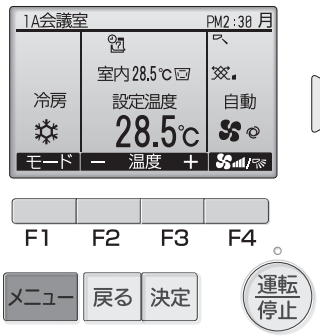
お知らせ

■このようなときは、液晶表示とユニットの風速が異なります。
●"暖房準備中"・"霜取中"表示のとき
●暖房運転直後(モード切換待機中)
●暖房モードで設定温度より室温が高いとき
●ドライモードのとき

静音自動モード設定をするとき

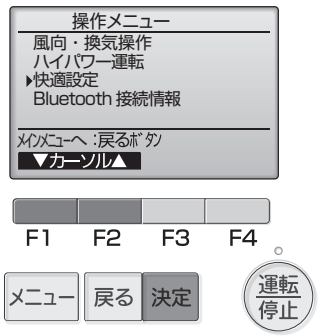
● 風速自動設定時、静音性を優先した運転をします。
静音自動モード中は低騒音優先のため、能力がセーブされます。能力不足を感じた場合は静音自動モードを通常にしてください。

1 メニュー ボタンを押す。

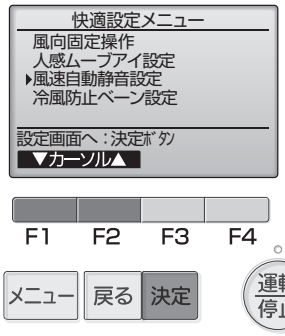


2 F2 F3 ボタンで「操作」を選択し 決定 ボタンを押す。

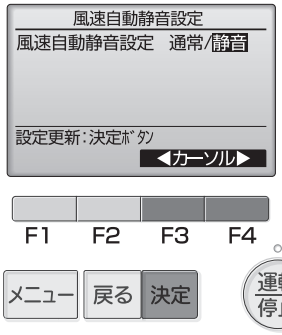
3 F1 F2 ボタンで「快適設定」を選択し 決定 ボタンを押す。



4 F1 F2 ボタンで「風速自動静音設定」を選択し 決定 ボタンを押す。



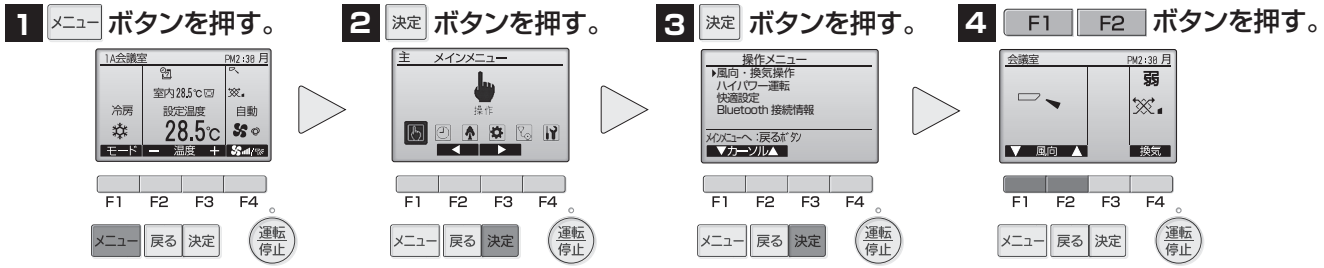
5 F3 F4 ボタンで「静音」を選択し 決定 ボタンを押す。



※室外ユニットタイプにより、設定できない場合があります。

上下風向を変えたいとき

● F4ボタンの長押し（1秒以上）操作、または本操作により風向操作画面を表示させ上下風向を設定します。



●1回押すごとに設定が切換わります。

	上下風向の設定の切換わり
PK-RP·KA15	自動 （設定1） （設定2） （設定3） （設定4） （設定5） スイング

● 上下風向ベーンの運転·設定内容

運転モード						
暖房·送風	スイング	設定1	設定2	設定3	設定4	設定5
冷房·ドライ	スイング	設定1	設定2 ※	設定3 ※	設定4 ※	設定5 ※
			※ 1 時 間 設 定 有 効			
運転モードを変更した時の上下風向設定	——	冷房·ドライ·送風運転	——	——	——	暖房運転

※1時間経過すると自動的に水平吹出し（設定1）にもどります。

運転モード変更時のマイコン自動設定
（スイング設定のときは継続します）

● 冷房・送風・ドライモードにしたとき…設定1
● 暖房モードにしたとき……設定5

お 知 ら せ

■このようなときは、液晶表示とユニットの上下風向が異なります。
●“暖房準備中”・“霜取中”表示のとき　●暖房モードで設定温度より室温が高いとき
●暖房運転直後（モード切換待機中）

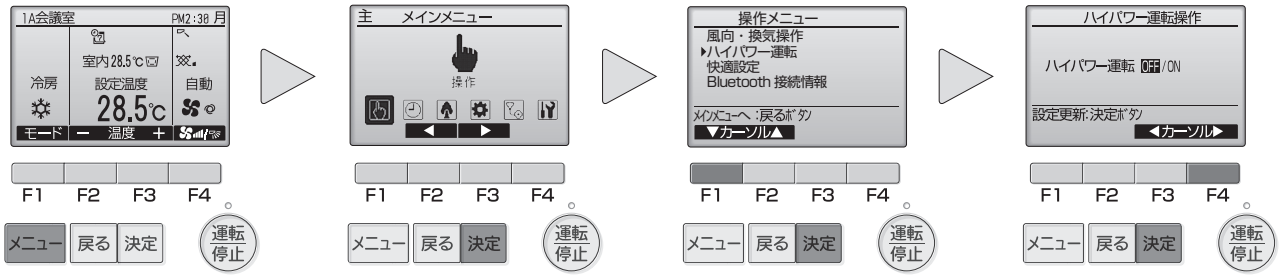
ハイパワー運転を行うとき

1 メニュー ボタンを押す。

2 決定 ボタンを押す。

3 F1 ボタンを押す。
決定 ボタンを押す。

4 F4 ボタンを押す。
決定 ボタンを押す。



●運転能力を上げて、すばやく快適な室温に近づけます。
●ハイパワー運転は最大30分間運転し、
自動で通常運転に戻ります。
●運転モード切換、風速切換を行ったときも、
通常運転に戻ります。
●室外ユニットおよび室内ユニットの騒音が大きく
なることがあります。

お 知 ら せ

■室外ユニットタイプによりハイパワー運転できない場合があります。

運転を停止するとき

運転停止 ボタンを押す。

お 知 ら せ

■運転停止後、すぐに電源を切らないで必ず5分以上待ってください。
水漏れや故障の原因となることがあります。

再運転時の動作内容

■MAスマートリモコンで再運転した場合は、
右表の内容で動作します。
（ワイヤレスリモコンでの再運転は、
リモコンの設定されている内容にしたがいます。）

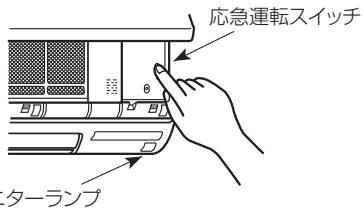
	MAスマートリモコンで再運転した場合の動作内容
運転モード	前回の運転モード
設 定 温 度	前回の設定温度
風　　速	前回の設定風速
上 下 風 向	前回の設定風向

● 運転のしかた 応急運転のしかた

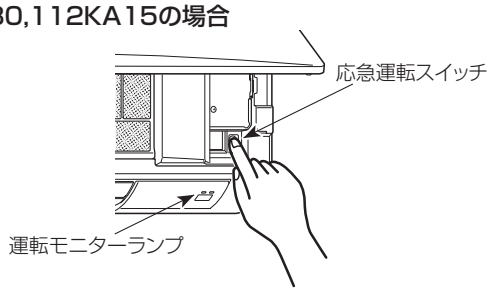
ワイヤレスリモコンが使えないとき

ワイヤレスリモコンの乾電池が切れたり、ワイヤレスリモコンが故障したときは、室内ユニットの応急運転スイッチを使って応急運転ができます。

● PK-RP56, 63, 71KA15の場合



● PK-RP80,112KA15の場合



●応急運転スイッチを1回押すごとに運転モードが切換わります。
●「冷房/暖房」は、運転モニター表示（『橙』はスイッチ操作から5秒間）でご確認ください。

【冷暖兼用機種】
→ 冷房 → 暖房 → 停止

【冷房専用機種】
→ 冷房 → 停止

運転モニター表示

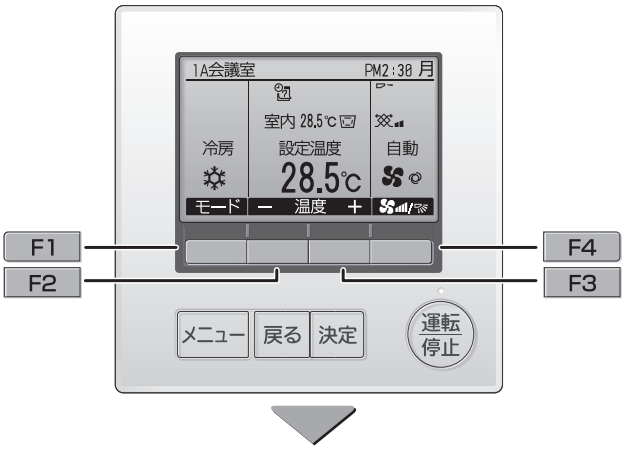
	運転モニターランプ		
	緑	橙	
停止	○	○	『橙』は、スイッチ操作から5秒間は左記表示で、以後は通常時の表示に戻ります。
冷房	●	○	
暖房	●	●	

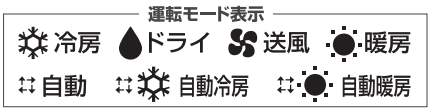
○ 消灯
● 点灯

※応急運転時の運転内容は右表になります。

運転モード	冷　房	暖　房
設 定 温 度	24℃	24℃
風　　速	強	強
上 下 風 向	設定1	設定5

● 運転のしかた 自動運転、換気運転のしかた





自動運転を行うとき

1 (運転停止) ボタンを押す。

2 F1 ボタンを押し、表示を 自動 にする。

設定温度より室温が高いときは冷房運転を、室温が低い時は暖房運転を開始します。
（下記「自動運転とは」参照）

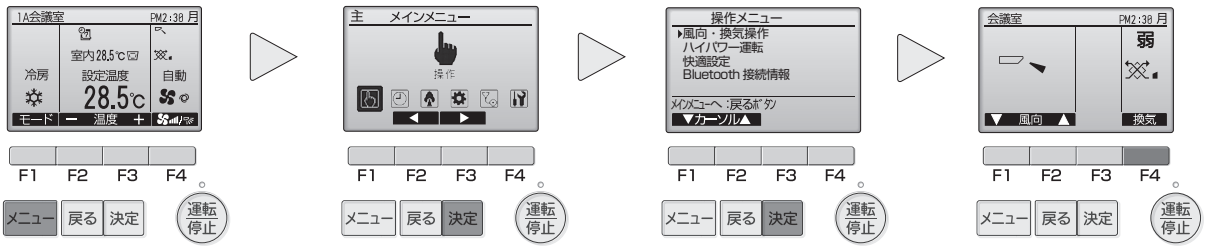
※運転モードが確定した後に、現在の運転モード[自動冷房]、[自動暖房]が表示されます。
なお、リモコンの初期設定で、「自動冷暖房表示:しない」に設定変更されている場合には、"冷房"、"暖房"は表示されません。([自動]の表示のみ)
(リモコンの初期設定ついては、リモコンの据付工事説明書(設定編)を参照してください。)

換気運転を行うとき

●室内ユニットと連動して換気装置を運転するとき (運転停止) ボタンを押す。
室内ユニットを運転したとき、自動的に換気装置も運転します。

●換気装置を単独で運転するとき

1 メニュー ボタンを押す。 **2** 決定 ボタンを押す。 **3** 決定 ボタンを押す。 **4** F4 ボタンを押す。



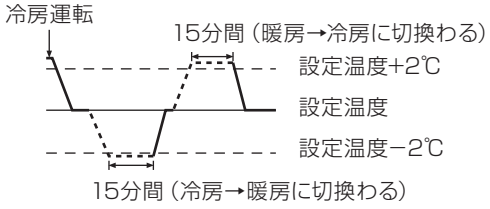
●換気運転の風速を変えたいとき
F4 ボタンを押す。

お 知 ら せ

■室内ユニットと換気装置の機種により、換気装置のみを運転した場合でも室内ユニットのファンが動作する場合があります。

自動運転とは

■設定温度より室温が高い時は冷房運転を開始し、室温が低い時は暖房運転を開始します。
■自動運転中に室温が変化し設定温度より2℃以上高くなり、その状態が15分続くと冷房運転に切換わります。
また、2℃以上低くなり、その状態が15分続くと暖房運転に切換わります。



運転のしかた タイマー、スケジュール運転のしかた

MAスマートリモコンから、タイマー運転、週間スケジュール運転の設定ができます。
MAスマートリモコンのメニューボタンを押してメインメニュー画面を表示し、F2 F3 ボタンで設定したい運転を選択します。
各運転の詳細設定方法は、リモコンの取扱説明書をご確認ください。

タイマー運転

■オン／オフタイマー
運転開始時刻と停止時刻が5分単位で設定できます。

■消忘れ防止タイマー
運転を開始してから停止するまでの時間を10分単位で設定できます。設定時間は30分から240分の範囲で設定できます。

週間スケジュール運転

1週間の運転開始時刻と停止時刻および設定温度を1日最大8パターン設定できます。
また、週間スケジュールを2種設定できます。（例：夏用、冬用スケジュールなど）

運転のしかた ワイヤレスリモコンをご使用になる場合

ワイヤレスリモコンをご使用になる場合

ワイヤレスリモコンの操作方法については、ワイヤレスリモコンに付属の取扱説明書、及び据付工事説明書をご参照ください。

■ワイヤレスリモコンは、室内ユニットの受光部に向って 送信してください。
■電源を入れてすぐにワイヤレスリモコン操作をした場合、室内ユニットから"ピピピッ"または"ピーピーピーピー"と発信音がすることがあります。初期自動点検中ですので約3分お待ちください。
■ワイヤレスリモコン送信部の信号が受光部へ届き、室内ユニットから、"ピッ"と音を出してお知らせします。この信号の届く範囲は直線方向で約7m左右方向約45°程度です。また、蛍光灯などの照明や強い光の影響を受けて、信号が届きにくくなることがあります。
■換気単独運転はできません。
■受光部付近の運転ランプが点滅しているときは点検が必要です。お買い上げの販売店へご連絡ください。
■ワイヤレスリモコンの取扱いは大切に! 落としたり、衝撃を与えないでください。また、水に濡らしたり湿度の高いところに置かないでください。
■紛失防止のためにリモコンホルダー(リモコン付属)を壁に固定し、使用後は必ず元に戻すようにしてください。

運転のしかた もっと知りたいとき

ドライ運転とは

■お部屋の温度が下がるのを抑えながら、湿気を取除く運転をします。

暖房運転について

■暖房開始時に風が弱い: 吹出し空気が一定の温度に達するまでは、吹出し空気の温度上昇に合わせて、徐々に設定風速へ切換わります。その間ワイヤードリモコンには"暖房準備中"と表示されます。(ワイヤレスリモコンの場合は、受光部付近にある表示灯が点灯します。)
■風速が設定どおりにならない: 室温が設定温度となり、風速は微風となります。
■風が出ない: ワイヤードリモコンに"霜取中"表示中は風を出しません。(ワイヤレスリモコンの場合は、受光部付近にある表示灯が点灯します。)
■運転を停止しても風が出る: 運転停止後最大約1分間室内、ユニット内の余熱を排熱するために室内ファンがまわる事があります。

風向について

■冷房・ドライ運転時、下吹出しに設定しますと、1時間経過後、自動的に水平吹出しに戻ることがあります。
これは上下風向ベーンや吹出し口周辺などに露つき、露たれが生じたり、露飛びを防止するためです。
繰り返しご使用されて、露つきなどが発生した場合は、水平吹出しに戻してください。

換気連動運転とは

■室内空気と新鮮な外気とを混合させ、より効果的な換気を行うものです。

ミスタースリムの使用温度範囲

		室　内	室　外※1
冷房・ドライ	乾球温度	19℃~32℃	−5℃~43℃
	湿球温度	15℃~23℃	——
暖　房	乾球温度	10℃~28℃	−11℃~21℃
	湿球温度	——	−12℃~15℃

※1 室外ユニットにより表と異なることがあります。各室外ユニットの使用温度範囲はカタログ・仕様書などでご確認ください。

霜取運転とは

■外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かす運転を行っています。霜取り運転中はリモコンに「霜取中」を表示します。霜取運転は約10分程度（最大15分）で終わります。

■霜取運転を行っているときは、室内ユニットの熱交換器が冷たくなりますので、送風機を停止しています。
またこの間は上下風向ベーンを水平吹きに自動設定します。霜取運転を終了しますと暖房準備中へと移行します。

運転停止後の霜取りについて

■暖房運転停止後、霜取運転を行います。運転停止後に霜を溶かすことで、次回起動時の立ち上がり時間が早くなります。
※リモコンに霜取中の表示はされません。

暖房プレヒートとは

■霜取運転中の室内温度低下を抑えるため、霜取運転を行う直前に強めの暖房を行い、室温を上げる運転を行います。

■外気温度、霜の付き具合、霜取直前の運転状態によっては効果を得られない場合があります。

室外サイレントモードとは

■室外ユニットの音が気になるとき、能力をセーブし、静音性を優先した運転を行います。

省エネ運転とは

■消費電力を制限するデマンド運転を行います。

パワーシェア運転とは

■この機能有効時は各冷媒系統が協調して運転することで全体の電力が最小になるように圧縮機を制御します。
この機能は2～4冷媒系統が1グループの場合に設定できます。5冷媒系統以上が接続される場合は設定できません。設定方法はMAスマートリモコン取扱説明書をご覧ください。

スマートデフロスト運転とは

■各冷媒系統が同時に霜取運転にならないように協調します。ただし、条件によっては同時に霜取運転する場合があります。この機能は2～4冷媒系統が1グループの場合に働きます。5冷媒系統以上が接続される場合は働きません。

消費電力表示について

■運転中に消費した電力量、またはCO_2排出量をMAスマートリモコンに表示することができます。
詳細はMAスマートリモコンの取扱説明書をご覧ください。

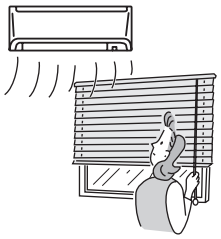
上手な使い方

上手な使い方－“ミスタースリム”を上手に正しくお使いいただき、快適な室内環境をお作りください。

室内温度(室温)は最適に

■冷房運転では室内と室外の温度差を5℃以内にするのが最適です。
■冷やしすぎは健康によくありません。電力のムダ使いにもなります。
■たとえば冷房のとき設定温度を1℃上げると約10%の電力が節約できます。

冷房時は熱の侵入を少なく



■冷房時直射日光の当たる窓にはブラインド、カーテンをひくなどして熱の侵入を少なくしましょう。
■出入口は必要なとき以外は開けないようにしましょう。

長時間直接お肌に風をあてない

■長時間エアコンの風が直接身体にあたると体調を悪くしたり、健康障害の原因となることがあります。
■特に赤ちゃんや子供は大人に比べて敏感です。エアコンの風を直接肌にあてないでください。

フィルターの清掃を

■フィルターの目詰まりは風の流れを悪くし、冷房･暖房能力が落ちます。電力のムダ使いとなります。
　また、露付･露たれの原因にもなります。
■MAスマートリモコンはフィルターサイン付きです。(20ページ)

中間期にはドライ運転を

■ムシムシすると感じるときは、空気中に含まれる水蒸気が多い状態です。湿度は温度や風との関係があり、快適と感じる湿度条件は夏で60～70%、冬では55～70%程度といわれています。
■ムシムシするとき、冷房運転では冷えすぎと感じることがあります。ドライ運転をご利用ください。

室内の温度ムラ解消に風向調節を

■冷房時、肩などに直接風が当たり体調を悪くすることがあります。冷たい空気は重たいので水平吹出しなどにして、上方から冷やすよう風向を調節してください。
■暖房時、足元が寒いのは冷たい空気は重いので、床の近くに溜まるからです。下吹出しなどにして風向を調節してください。

ときどき換気を

■長時間、閉め切った部屋では空気が汚れますので、ときどき換気が必要です。
■送風運転は、お部屋の空気を循環させる働きをします。
■冷房･ドライ･暖房運転をしない中間期に換気扇との連動運転をしますと、より効果的な換気ができます。当社“ロスナイ換気扇”を利用しますとムダのない換気ができます。

「故障かな？」と思ったら

Q 故障かな？　A お答えします（故障ではありません）

Q よく冷えない。よく暖まらない。

A
■フィルターの清掃をしてください。（フィルターが汚れ、目詰まりして風量が低下しているためです）
■温度調節を確認して、設定温度を調節してください。
■室外ユニットの周囲空間を広くあけてください。室外ユニットの吹出し口・吸込み口が塞がれていませんか？
■窓やドアが開いていませんか？
■風速を 弱・自動 で運転している場合、冷えや暖まりが弱い場合があります。このような場合は、風速を 中・強 に変更してください。
■圧縮機の予熱中です。外気温度が−20℃より低い条件で電源を入れた場合、最大で12時間運転できない場合があります。
（※PUZ-HRMP80〜160形の場合）

Q 暖房運転にしたとき、すぐに風がでない。暖房準備中表示がでる。

A
■十分に暖かな風をおとどけするため準備中です。

Q 暖房運転中、設定温度になっていないが運転が止まる。

A
■外気温度が低く、湿度が高いときに室外ユニットに霜が付きます。この霜を溶かしています。
そのまま約10分ほどお待ちください。

Q 風向が途中で変わる、風向が設定どおりにならない。

A
■冷房運転およびドライ運転中、下吹出しで使用しますとベーンが自動的に1時間後に水平吹出しになります。
これは水滴が滴下するのを防ぐためです。
■暖房運転中、吹出し温度が低いとき、または霜取運転中は自動的に水平吹出しになります。

Q 水の流れるような音や時々“プシュ”と音がする。

A
■エアコン内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切換わるときの音です。

Q “ピシッ、ピシッ”という音がする。

A
■温度変化で部品などが膨張･収縮して、こすれる音です。

Q 部屋がにおう。

A
■エアコンが壁やじゅうたん、家具から発生するガス、又は衣類などにしみ込んだにおいを吸込んで、風を吹出すためです。

Q 室内ユニットより白い霧がでる。

A
■室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。
■霜取運転時、冷気が下りてきて霧状に見えることがあります。

Q 室外ユニットより水が出る。

A
■冷房時に冷えた配管や配管接続部に水滴がつき滴下するためです。
■暖房時に熱交換器についた水が滴下するためです。
■霜取時に熱交換器についた水が蒸発し、水蒸気が出ることがあります。

Q リモコン表示部に の表示が出ている。

A
■ の表示が点灯中はリモコンでの運転･停止の操作が禁止となっています。

Q リモコン表示部に の表示が出ている。

A
■ の表示が点灯中はリモコンでの運転モードの操作が禁止となっています。

Q リモコン表示部に の表示が出ている。

A
■ の表示が点灯中はリモコンでの設定温度の操作が禁止となっています。

Q 再運転のために停止後すぐに運転･停止ボタンを押したが動かない。

A
■約3分間お待ちください。
（エアコンを保護するため、止まっています。）

Q 製品のプラスチックが変色している。

A ■日光の反射などによる紫外線や温度などの要因によって変色することがあります。
製品の使用には問題ありません。

Q 運転･停止ボタンを押さないのに動き出した。

A ■入タイマー運転をしていませんか?
運転･停止ボタンを押して停止してください。
■遠方コントロールが接続されていませんか?
運転を指示したところへ連絡･確認してください。
■ の表示が点灯していませんか?
運転を指示したところへ連絡･確認してください。
■停電自動復帰を設定していませんか?
運転･停止ボタンを押して停止してください。

Q 運転･停止ボタンを押さないのに停止した。

A ■切タイマー運転をしていませんか?
運転･停止ボタンを押して運転を再開してください。
■遠方コントロールが接続されていませんか?
停止を指示したところへ連絡･確認してください。
■ の表示が点灯していませんか?
停止を指示したところへ連絡･確認してください。

Q 停止ボタンを押したのに室外機が動いている。

A ■運転停止後の霜取りを行っているためです。
霜取運転は約10分程度(最大15分)で終わります。

Q リモコンのタイマー運転がセットできない。

A ■タイマー設定が無効となっていませんか?
タイマー設定がセット可能なときは、 、 のいずれかが表示されています。

Q リモコンにエラーコードが表示される。

A ■空調機に障害が発生し、運転を継続できずに停止しています。
※自分では絶対に修理しないでください。
エアコンの電源を切り、お買い上げ販売店に製品名･リモコン表示内容を連絡してください。

Q 排水音やモータの回転音がする。

A ■冷房運転停止時に、停止後3分間ドレンアップメカを運転してから停止するためです。3分間お待ちください。

Q 騒音が仕様値よりも高い。

A ■室内の運転音は反響などにより、無響室で測定した仕様値よりも一般的につぎに示します値程高くなります。(SPL値)

	吸音効果の高い部屋	普通の部屋	吸音効果の低い部屋
一般例	放送スタジオ、音楽室など	応接室、ホテルロビーなど	オフィス、ビジネスホテル
騒音アップ値	3～7dB	6～10dB	9～13dB

Q リモコンに“Please wait”の表示が出る。

A ■初期設定(約3分)を行っているためです。

Q ワイヤレスリモコンの表示がでない、薄い、受光部に近付けないと受信しない。

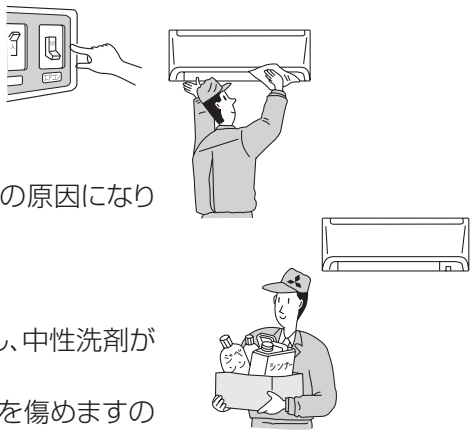
A ■乾電池が消耗しています。乾電池を交換し、リセットボタンを押してください。
※新しい乾電池でも表示の出ない場合は、乾電池の入れ方(+、−)を再度確認してください。

Q ワイヤレスリモコン受光部の運転/停止ランプが点滅する。

A ■空調機に障害が発生し、運転を継続できずに停止しています。
※自分では、絶対に修理しないでください。
エアコンの電源を切り、お買い上げ販売店に製品名を連絡してください。

お手入れのしかた

お手入れのまえに　■必ず、電源を「切」にしてください。



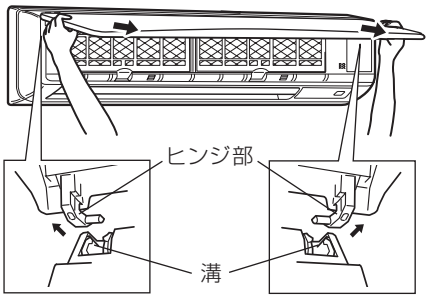
室内ユニット、リモコンの清掃

■やわらかい布でから拭きをしてください。
■上下風向ベーンは手で強く引っ張ったり押したりしないでください。故障の原因になります。
■リモコン線をひっぱったり、ねじったりしないでください。
　また、リモコンケースは取外さないでください。
■手あか、油類の場合は、家庭用の中性洗剤（食器用または洗濯用）を使用し、中性洗剤が残らないようにふき取ってください。
■ガソリン･ベンジン･シンナー･みがき粉･酸性／アルカリ性洗剤などは製品を傷めますので、絶対使用しないでください。

フロントグリルの清掃

取外しかた

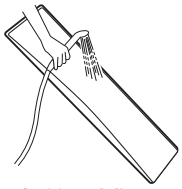
両手でフロントグリルをつかみ、水平に持ち上げ手前に引くと容易に外れます。



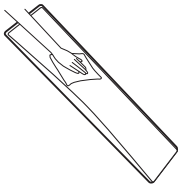
■フロントグリルは無理に引き抜いたり、落下させない。
　フロントグリル破損の原因になります。
■フロントグリル着脱のときは、不安定な台に乗らない。
　転倒などによるケガの原因になります。

お手入れの方法

①水洗いする



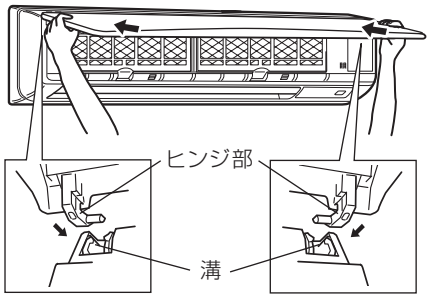
②やわらかい布で水分を拭き取って陰干しする。



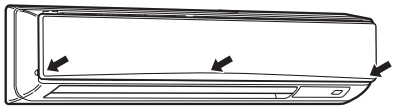
■汚れが目立つときは、布に中性洗剤を溶かしたぬるま湯を含ませて拭いてください。
■ガソリン・ベンジン・シンナー・磨き粉を使用しない。
■たわしやスポンジの硬い面などで洗わない。
■長時間（2時間以上）湯水や水につけておかない。
■直射日光やストーブなどで乾燥させない。変形や変色の原因になります。

取付けかた

①両手でフロントグリルの両端を持ち、ほぼ水平にしたまま、ヒンジ部（下図）を室内ユニットの最上部の溝に差込む。（左右ヒンジ部は”カチッ”と音がするまで差込む）



② フロントグリルの矢印3箇所を押す。

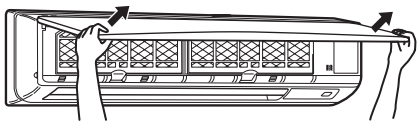


フィルターの清掃

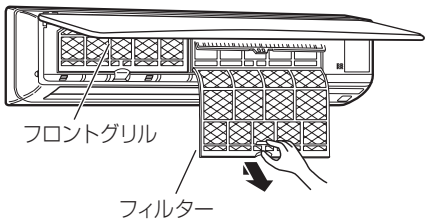
⚠注意	**清掃のときは運転を止め、電源スイッチを切る** 運転中はファンが高速で回転しており、ケガの原因になります。
⚠注意	**フィルターなどの着脱･手動での風向調節のときは不安定な台に乗らない** 落下･転倒によるケガの原因になります。フィルター清掃は専門の業者に依頼してください。
⚠注意	**フィルターなどの着脱には、保護具（メガネなど）を着用する** 目にゴミ･ホコリが入ることがあります。

取外しかた

①両手でフロントグリルの左右下側を同時に引き上げ、“カクッ”と止まる位置まで持ち上げる。

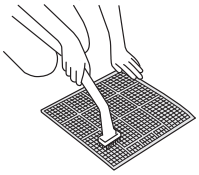


②フィルターのツマミをつかんで少し持ち上げて、手前下に引く。（左右2ヶ所に付いています）

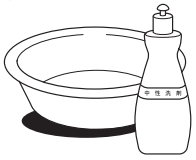


お手入れの方法

■取外したフィルターのほこりを掃除機で吸い取るか、水洗いをし、日陰でよく乾かす。



■硬いブラシやタワシでこすらない。変形することがあります。



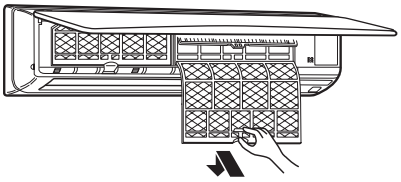
■汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯ですすぐ。
■直射日光や日にあてて乾かさない。
■熱い湯（約50℃以上）で洗わない。変形することがあります。

取付けかた

取付けは、取外しの逆の手順で行ってください。

取付け時の注意

爪部を確実にはめ込む。



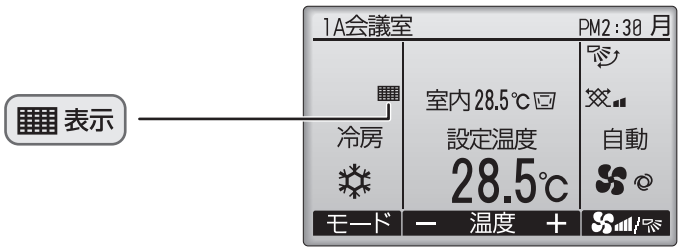
フロントグリルを閉じる。

⚠注意	室内ユニットの金属部にさわらない。 フィルターを外したときにケガの原因になります。
⚠注意	フィルターなどの着脱・手動での風向調節のときは不安定な台に乗らない。 落下・転倒によるケガの原因になります。

フィルター清掃時期

■MAスマートリモコンの場合は 表示 表示を点灯させて清掃時期をお知らせします。
（ワイヤレスリモコンの場合は表示されません。）

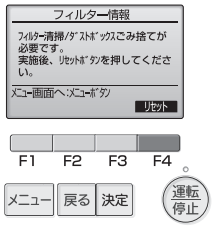
室内ユニット	運 転 時 間
PK-RP･KA15	100時間



表示をリセットする

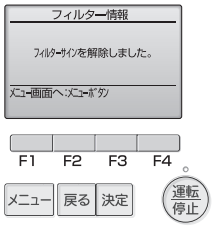
1 『フィルター情報』を表示します。

2 F4 ボタンを押す。



3 F4 ボタンを押す。

4 完了画面が表示されます。



■必ずフィルター清掃を行ってから表示を消してください。表示を消すとユニットの運転時間もリセットされます。
■2台以上で形の異なる室内ユニットを操作する場合、接続された室内ユニットのうち1台でもフィルター清掃時期がくれば“フィルター清掃”が表示されます〈ロングライフフィルター:2500時間、一般フィルター:100時間〉。
表示を消すと全てのユニットの運転時間がリセットされます。
■運転時間で表示される“フィルター清掃”表示は、一般的な室内での空気条件で使用した場合の清掃時期を、目安時間で表示しているものです。環境の空気条件によって、汚れの程度が異なりますので、汚れ具合に応じて清掃してください。

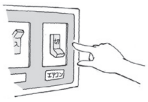
長期間ご使用にならないとき

長期間ご使用にならないとき

1 4～5時間、「暖房」モードで運転してエアコン内部を乾燥させる。

■不衛生な「カビ」などが発生して室内に飛散し体調悪化や健康を損なう原因となることがあります。

2 エアコンの電源を切る。



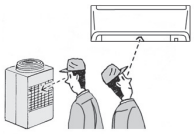
■電源が入っていると数ワット～数十ワットの電力が消費されます。

再度使い始めるとき

■下記作業 **1** ～ **4** の点検を行い、異常の無いことを確認後、電源を入れてください。

1 フィルターを清掃して、取付ける。

2 室内・室外ユニットの吹出口・吸込口が塞がれていないことを確認する。



3 アース線が外れていないことを確認する。室内ユニットにも取付けてある場合があります。

4 ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどのないことを確認する。

5 運転開始の12時間以上前から必ずエアコンの電源を「入」にする。
（電源を入れる場合は、必ず外気温度が−20℃より高い条件で実施ください。）

お　願　い

■アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続されていないことを確認してください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

移設・工事について

移設・廃棄について

⚠警告	**据付や移設の場合は、冷媒サイクル内に指定冷媒以外のものを混入させない。** ●空気などが混入すると、冷媒サイクル内が異常高圧になり、破裂などの原因になります。 ●指定冷媒以外を封入すると、機械的不具合・誤作動・故障の原因となり、場合によっては安全性確保に重大な障害をもたらすおそれがあります。

⚠警告	**当社指定の冷媒以外は絶対に封入しない。** ●法令違反の可能性や、使用時・修理時・廃棄時などに、破裂・爆発・火災などの発生のおそれがあります。 ●封入冷媒の種類は、室外ユニットの据付工事説明書あるいは銘板に記載されています。 ●それ以外の冷媒を封入した場合の故障・誤動作などの不具合や事故などについては、当社は一切責任を負いません。

■増改築・引越しのためエアコンを取外したり再据付けをする場合は、移設のための専門の技術や工事の費用が必要になりますので、あらかじめ販売店にご相談ください。

■据付け・移設・間取り変更などの場合は、据付工事説明書に記載されている「据付け場所の選定」を確認してください。

この製品はフロン排出抑制法・第一種特定製品です。

■フロン類をみだりに大気中に放出することは禁じられています。

■この製品を廃棄する場合には、フロン類の回収が必要ですので、必ず専門の回収業者に依頼してください。

据付場所について

⚠警告	**可燃性ガスの漏れるおそれのある場所には据付けない。** ●万一ガスが漏れて、ユニットの周囲にたまると爆発の原因になります。

次の場所への使用は避けてください。

■可燃性ガスの漏れるおそれがあるところ

■硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリなど機器に影響する物質の発生するところ〈温泉地、化学薬品工場、下水処理場、動物飼育室、メッキ工場など〉
熱交換器（アルミフィン、銅パイプ）などに腐食を起こすおそれがあります。

■機械油を使用するところ〈加工油を用いプレスや切削をする機械工場など〉
プラスチック部品の破損、フィルター劣化、送風機や熱交換器の機能低下を生じ製品寿命が著しく低下します。

■車輌・船舶など移動するものへの設置

次の環境でのご使用の際は、使用を避けるか販売店へご相談ください。

（室内ユニット）

■食用油を使用するところ〈厨房など〉
プラスチック部品の破損、フィルター目詰まりで機能低下が生じます。厨房用エアコンまたはダクト空調を選定してください。

■湿気の多いところ
冷房時に結露しやすくなります。

■高周波を発生する機械（高周波ウェルダー、医療機器、通信機器など）を使用するところ
通信異常やマイコン誤動作のおそれがあります。ノイズ発生源を遮断した上で施工してください。

■化粧品・特殊なスプレーを頻繁に使用するところ〈美容室など〉
臭いが熱交換器に付着し、室内ユニットから吹出すことがあります。

海浜地区・積雪地区における設置に関するご注意
（室外ユニット）

■海浜地区など塩分の多いところ
使用を避けるか、耐塩害／耐重塩害仕様室外ユニット（受注品）をお求めください。

■積雪の多いところ
室外ユニットへの雪の侵入を防ぐため、防雪ダクト、防雪フードを取付けてください。（別売として用意しています。）

室内ユニットは必ず水平に据付けてください。
水たれの原因になります。

電気工事について

⚠注意	**アース工事を行う** ●アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続されていないこと。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

⚠注意	**漏電遮断器を取付ける** ●取付けていないと、感電の原因になります。

■電気工事は、電気工事士の資格のある方が「電気設備に関する技術基準」「内線規程」および据付工事説明書に従って施工してください。

■電源は必ずエアコン専用回路にしてください。
他の電気製品と回路を共用しますと、ブレーカーやヒューズが切れることがあります。

■ブレーカー・ヒューズなどは正しい容量のものをご使用ください。

運転音にも配慮を

■据付けにあたっては、エアコンの質量に十分に耐え、振動が増大しない場所を選んでください。

■室外ユニットの吹出口からの冷温風や運転音が隣家の迷惑にならない場所を選んでください。

■室外ユニットの吹出口の近くには物を置かないでください。性能低下や運転音増大の原因になります。

保証とアフターサービス

●「修理・取扱い・お手入れ」などのご相談は、お買上げの販売店・施工者・設備業者へお申しつけください。
●お買上げ先へご依頼できない場合は「三菱電機 修理窓口・ご相談窓口」（25ページ参照）へお問い合わせください。
●エアコンに使用されている冷媒は安全です。
冷媒は通常漏れることはありませんが、万一冷媒が室内に漏れ、ファンヒータ、ストーブ、コンロなどの火気に触れると、有毒ガスが発生する原因になります。冷媒漏れの修理の場合は、漏れ箇所の修理が確実に行われたことをサービスマンに確認してください。
●この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
●ユニット本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害の保証はいたしません。

保　証　書

■室内ユニットに保証書を添付しております。
セットでお買い上げになった室内ユニット・室外ユニット・リモコンを保証します。
■保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受取りください。
■内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。
■保証期間中でも有償になる場合がありますので保証書をよくお読みください。

保証期間…お買上げ日または据付日または試運転完了日から起算して1年間です。

補修用性能部品の保有期間

■パッケージエアコンの補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後9年です。
■補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

“「故障かな?」と思ったら”（17・18ページ参照）に従ってお調べください。
なお、不具合のあるときは、必ず電源を切ってからお買上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は
修理に際して、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合は、ご希望により修理させていただきます。修理料金は、技術料+部品代+（出張料）などで構成されています。

■ご連絡いただきたい内容

1.品名	パッケージエアコン
2.形名・製品番号	室内ユニットは、保証書に記入してあります。 室外ユニットは、室外製品銘板に記入してあります。
3.お買上げ日	○○年○月○日
4.故障の状況	できるだけ詳しく（リモコンのエラー表示記号なども）
5.ご住所	付近の目印なども
6.お名前・電話番号	

保守点検契約のおすすめ

■エアコンを数シーズン使用すると、内部が汚れて性能が低下します。臭いが発生したり、ゴミやホコリなどによりドレンホースが詰り、室内ユニットから水漏れまたは、異常停止することがあります。さらに補助電気ヒータ付き機種は、ヒータにゴミやホコリなどが付着して発煙に至ることがあります。通常のお手入れとは別に保守点検契約をおすすめします。

■点検周期と保全周期の目安
[保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

●表1.「点検周期」及び「保全周期」の一覧

主　要　部　品　名	点検周期	保全周期 [交換または修理]
圧縮機	1年	20,000時間
モーター(ファン、ルーバー、ドレンポンプ用など)		20,000時間
ベアリング		15,000時間
電子基板類		25,000時間
熱交換器		5年
膨張弁		20,000時間
バルブ(電磁弁、四方弁など)		20,000時間
センサー(サーミスタ、圧力センサーなど)		5年
ドレンパン		8年

注1.本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2.この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。また保守点検契約の契約内容によっては本表よりも、点検・保全周期が短い場合があります。

上表は次の使用条件が前提となります。

①頻繁な発停のない、通常のご使用状態であること。
（機種によりことなりますが、通常のご使用における発停の回数は、6回／時間以下を目安としています。）

②製品の運転時間は、10時間／日、2500時間／年と仮定しています。(氷蓄熱など夜間に運転するものはこれより長くなる場合があります。)

また、下記の項目に適合する時には、「保全周期」及び「交換周期」の短縮を考慮する必要があります。

①温度･湿度の高い場所、あるいはその変化の激しい場所でご使用される場合。

②電源変動(電圧、周波数、波形歪みなど)が大きい場所でご使用される場合(許容範囲外では使用できません。)

③振動、衝撃が多い場所に設置され、ご使用される場合。

④塵埃、塩分、亜硫酸ガス及び硫化水素などの有害ガス･オイルミストなどの良くない雰囲気でご使用される場合。

⑤頻繁な発停のある場所、運転時間の長い場所。(24時間空調など)

■消耗部品の交換周期目安
[交換周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。]

●表2.「交換周期」の一覧

主　要　部　品　名	点検周期	交換周期
フィルター	1年	5年
平滑コンデンサー		10年
ヒューズ		10年
クランクケースヒーター		8年

注1.本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。
注2.この交換周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、交換行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計(部品交換費用の予算化など)のためにお役立てください。

修理窓口・ご相談窓口のご案内（冷熱品）

修理・取扱いのご相談は
まずお買上げの販売店・施工者・設備業者へ

お買上げ先へご依頼できない場合は

修理のお問合わせは → 修理窓口 へ

その他のお問合わせは → ご相談窓口 へ

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

三菱電機株式会社は、お客様からご提供いただきました個人情報は、下記のとおり、お取り扱いします。

1.お問合わせ（ご依頼）いただいた修理・保守・工事および製品のお取り扱いに関連してお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善、製品情報のお知らせに利用します。
2.上記利用目的のために、お問合わせ（ご依頼）内容の記録を残すことがあります。
3.あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
①上記利用目的のために、弊社グループ会社・協力会社などに業務委託する場合。
②法令等の定める規定に基づく場合。
4.個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

修理窓口 電話受付：365日 24時間（三菱電機ビルテクノサービス株式会社）

●冷熱サービスコールセンター

ナビダイヤル **0570-783-194**（有料）（なやみ いくよ）

沖縄地区の冷熱サービスコールの連絡先
(098) 866-1175

パソコン・スマートフォン　三菱　ビルテクノ　業務用エアコン　検索

https://www.meltec.co.jp/callcenter/callcenter.html

フィーチャーフォン　2次元コードでも簡単にアクセスできます。

FAX

東日本
［北海道・東北・関東甲信越・静岡県東部（富士川以東）］
(03) 3803-5290

西日本
［中部・静岡県西部（富士川以西）・北陸・関西・中国・四国・九州］
(06) 6391-8545

〈IP電話の場合〉
東日本（03)3803-1194　西日本（06)6391-8531
※IP電話回線経由の場合に、ナビダイヤルに接続できないことがあります。その際は、〈IP電話の場合〉の電話番号におかけください。

修理窓口 電話受付：365日 24時間（三菱電機システムサービス株式会社）

●三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル **0120-56-8634**（無料）

パソコン・スマートフォン　**http://www.melsc.co.jp**

フィーチャーフォン　空メールの送り先：**fc8634@melsc.jp**
または2次元コードからアクセス。
URLをメール返信します。

携帯電話・PHSの場合
ナビダイヤル **TEL 0570−01−8634**（有料）

ナビダイヤル **FAX 0570−03−8634**（有料）

ご相談窓口（三菱電機株式会社）

三菱電機空調冷熱ワンコールシステム
家庭用ルームエアコンおよび、店舗・事務所・ビルなどに設置する業務用エアコンに関するお問い合わせは

空調　24時間365日
携帯・PHS OK **0120-9-24365**（無料）
365日　24時間　受付

■修理のご依頼
■サービス部品の相談
■技術相談　平　日　9：00〜19：00
土・日・祝　9：00〜17：00

三菱電機冷熱製品に関する技術内容全般についてのご相談＜専用＞
三菱電機冷熱相談センター
フリーボイス **0037-80-2224**（無料）
＜携帯電話・PHS・IP電話の場合＞ **073-427-2224**（有料）

■電　話　平　日　9：00〜19：00
土・日・祝　9：00〜17：00
■ファックス　365日・24時間受付　フリーボイス **0037-80-2229**（無料）
＜IP電話の場合＞ **073-428-2229**（有料）
※IP電話回線経由の場合に、フリーボイスに接続できないことがあります。その際は、「IP電話の場合」の電話番号におかけください。

●所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承願います。
●電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようにおかけください。

R18A

MEMO

●PK-RP・KA15

形名	56形	63形	71形	80形	112形
騒音(PWL)：強ー中ー弱　dB	62−56−49			61−57−53	66−61−56
風量：強ー中ー弱　m^3/min	17.2−13.6−9.4			23−20−17	25−21−17
補助ヒータ　kW	――			――	――
外形寸法（高さ×巾×奥行）　mm	325×1100×258			365×1170×295	
質量　kg	16			21	

●フロンの見える化

室内機および室外機に表示されている左記のシンボルマークは、パッケージエアコンに温暖化ガス（フロン類）が封入されていることをご認識いただくための表示です。
この製品はフロン排出抑制法の第1種特定製品です。廃棄・整備するときは、都道府県に登録された第1種フロン類回収業者にフロン類の回収を依頼してください。
室内機には、フロン類の種類・GWP(地球温暖化係数)が表示されています。システム全体でのフロン類の数量は、室外機に表示されています。

●「フロン排出抑制法」に基づく冷凍空調機器の点検について

冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、本製品を所有されているお客様ご自身による簡易点検が義務づけられています。目視による外観点検を3ヵ月に1回以上実施し、記録することが定められています。お客様ご自身での点検が難しい場合や、点検で漏えいや異常があった場合は、専門業者による点検をお願いします。
詳細は下記のサイトをご覧ください。
JARAC 一般社団法人　日本空調設備工業連合会　http://www.jarac.or.jp/

点検頻度	点検方法	点検項目
3ヵ月に1回以上	お客様(=所有者様)による目視での外観点検	機器からの異常音、機器の外観損傷・摩耗・腐食・さび・油漏れ、熱交換器への霜の付着

●JRA* GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持して頂くために、また、冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、定期的な冷媒漏えい点検（保守契約などによる、遠隔からの冷媒漏えいの確認などの、総合的なサービスも含む）（いずれも有償）をお願いいたします。
定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者によって「漏えい点検記録簿」へ、機器を設置した時から廃棄する時までの全ての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理（管理委託を含む）をお願いいたします。
なお、詳細は下記のサイトをご覧ください。＊JRA:社団法人　日本冷凍空調工業会
・JRA GL-14について、http://www.jraia.or.jp/index.html
・フロン漏えい点検制度について、http://www.jarac.or.jp/

年　月　日～　年　月　日

様式1　冷媒漏えい点検記録簿（汎用版）

管理番号	

施設所有者								
施設名称				系統名				
施設所在地				電話				
運転管理責任者				電話				
点検事業者	会社名			責任者				
	所在地			電話				
使用冷媒	R32/R410A	初期充填量(kg)		点検周期	基準		実績(月)	
設備製造者								
設置年月日								
使用機器	型式			製品区分				
	製番			設置方式	現地施工			
	用途	空調用		検知装置				
冷媒量（kg）	合計充填量		合計回収量		合計排出量		排出係数(%)	

作業年月日						
点検理由						
充填量(kg)						
回収量(kg)						
監視･検知手段(最終)						
センサー型式						
センサー感度						
資格者名						
資格者登録No.						
チェックリストNo.						
確認者						

仕様

愛情点検

●長年ご使用のエアコンは点検を！

●パッケージエアコン補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後9年です。

ご使用の際このようなことはありませんか	●運転音が異常に大きくなる。 ●室内ユニットから水が漏れる。 ●電源が頻繁に落ちる。 ●その他の異常や故障がある。	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検･修理をご相談ください。

お買上げ販売店名	電話（　　）　－
お買上げ（据付）日	年　月　日

省エネで 守る環境 豊かな暮らし

三菱電機株式会社
静岡製作所 〒422-8528 静岡市駿河区小鹿3-18-1

RG79Y955H02